



事業紹介①

あんしん生活部会

### 津房地区自主防災活動・ 検討委員会

当津房地区では、幸いにして人命に関わるような酷い災害は近年発生していませんが、昨年3月の東日本大地震による甚大な被害、今年7月の県西部、北部における集中豪雨による大被害など、私たちは天変地変と壁一重で生活していることを痛感させられる事例が続いています。

これら、他地域で発生した大災害での事例を見ますと、地域の自主防災組織や訓練活動などの事前の備えの有無が、防災・減災の面で大きな結果の差となります。我が津房を振り返って見ますと、当地区にも高齢化と過疎化の波が押し寄せており、各集落単位での防災活動や互助組織の編成が年々困難な状況に向かっています。

そこで、あんしん生活部会では、地区住民の安全とあんしんの確保を目指す活動の一環として、「自主防災活動の展開」をテーマに、その具体化に取り組むことにしました。

具体化の第一歩として、小野幸市部会長を委員長に、集落の事情に詳しい自治委員さんの代表4名、現職あるいは前職で防災や事故防止に関わってこれ、本取組に相応しい知識、経験を有する部会員5名と事務局の合計10名の委員から成る「津房地区・自主防災活動検討委員会」を設置し、組織編成や仕組みづくりに関する活動を開始しました。

なお、他地区や先進地での同趣旨の活動状況や事例に関する情報入手に長けた宇佐市・地域おこし協力隊の3人も客員委員として参画願っています。



委員会の模様

7月26日を初回とし、月1回のペースで委員会を開催し、諸協議を行っています。

委員会での協議に止まらず、住民各位のご意向を伺ったり、ご協力をお願いしながら、来年3月末を目途に、地区一体で取組みする防災・減災活動案に纏め上げるよう推進して参ります。

事業紹介②

ふるさと振興部会  
ふれあい教育部会  
共 同

### ふれあい大運動会へ参画

津房小学校と住民が一体となって楽しむ地区最大のイベントである「ふれあい大運動会」の盛り上げに今年も参画しました。

昨年に続き、壮年向け競技種目である「小玉ころがし」と、閉会式後のモチマキ行事を協議会が提供しました。

モチマキは老若男女、貴賤上下を問わずいつも楽しい行事、ご参加の皆さん方童心に還って楽しんで頂けました。

今回は餅の量を昨年の倍、2俵に増やしたこともあり、昨年は不調に終わった方も、今年は「ソコソコの成果」だった様です。

なお、経費節減によるモチの増量を趣旨に、体育祭前日の9月21日、いつも

事業紹介③

ふるさと振興部会

### 道路維持管理事業へ取組

地元を通過する市道のうち、仙人田から深見地区・小平に抜ける林道・烏帽子線(約6km)と、両院広域農道の一部である、松本集落への入り口から小の岩の庄前経由、上の原入り口に到る間(約3.5km)の2路線について、その道路維持管理業務(主に草刈り)を市から協議会が受託し、実作業を地区内の団体などに委託する事業に取組みました。

行政の委託趣旨は、利用機会の多い地元住民が、維持管理の必要なタイミングを計るうえで有利なこと、自分たちのこととして、きめ細かな対応を期待できると、等に基づくものと思われまます。

両院広域農道は、担当区間を4分割し、松本イモリ谷苦楽分、御筆小組合、岡小組合、北部老人クラブの4団体に委託、

お世話になつている婦人ボランティアの方々、菅原会長と永田副会長、担当両部会の三役から成るニワカ餅つきチームを結成、ワイワイと楽しみながら、2俵のモチを6時間掛けて搗きました。



モチマキ行事での王道はなし!  
ただ、ただ、熱意と根性のみ!!!

初夏と秋口の2回の草刈りを実施しました。

一方、林道烏帽子線は雇用(失業)対策の意図も含まれていたことより、該当適任者を全自治委員さんに推挙依頼し、計20名を選抜、平均2・5日間ずつ出役頂き、荒れていた林道を見事に修復してくれました。

当事業の副次的な成果として、ボランティアに近い報酬ながら、地元で金が落ちたこと、受託金から再委託費を差し引いた剰余金(黒字)を、協議会の自主財源として活動資金に組み入れられたこととです。

厳しい条件にも拘わらずご協力頂いた各位に改めて御礼申し上げます。



林道・烏帽子線・生い茂る草と格闘中

事業紹介④

ふれあい教育部会

### 小学校の遊具整備支援

昨年に続き、津房小学校と協力して、遊具の整備作業を行いました。

鉄部に赤茶色の錆がいつぱい浮き出たグラウンドの遊具群は、如何にも寂れた教育環境の風景で、たいへん見苦しいとの津小先生方の思いもあり、塗装修復の支援要請を受けたものです。

また、協働により昨年設置した一輪車コースの走行路を、一般グラウンド部と明確に仕切り、児童が練習し易くするための敷石追加敷設作業についても、同日行いました。

塗装修復は地区民生委員の有志の方5名、津小の先生方、教育部会役員が担当、錆落としの難作業や作業着を汚しながらのペンキ塗り等、典型的な3Kの作業をこなして、仕上げてくれました。

一方、一輪車コースの方は、現職の市職チーム15人とPTAの有志から成る強力軍団で、約900枚のレンガをコース両側に埋設してくれました。10月6日という、3連休の初日にも拘わらず地区の児童たちのためにボランティア出役して頂いた大勢の方々、たいへん有り難うございました。

一輪車コース改善軍団：現役市職・PTA

